

第2回びわ湖「秋」花火(仮称)実施概要案

1. 実施の経緯について

2024びわ湖大花火大会に係る中央学区自治連合会役員会との折衝の中で、一部役員より、びわ湖大花火大会とは別の日に地域住民向けの花火大会を実施してほしいとの要望が上がり、令和6年(2024年)11月10日(日曜日) 18:30~18:45 地元住民向けに「びわ湖「秋」花火」と題し、公称約 500 発の打ち上げを行った。

2. 開催の趣旨

びわ湖大花火大会は本年の開催で39回目を数え、国内有数の花火大会として広く認知され、全国より多くのお客様がお見えになる一大イベントに成長した。当実行委員会の調査によると大会の開催による経済波及や観光 PR の効果も相応に認められ、花火ファンを中心として期待の声も高いことから、今後も継続した開催を計画しているところ。

一方で開催費用の増大による観覧場所の有料化や、公園の景観維持のための場所取りの禁止措置、安全確保のための路上からの観覧防止施策の実施により、周辺住民の方が気軽に湖畔に出て観覧できる花火大会ではなくなったとの声も頂戴している。

また大会の知名度の向上に伴い、多くの観覧者が来場するようになったことで、周辺地域ではオーバーツーリズムの様相を呈し、近年はやや解消の傾向を見せてはいるものの、歩行者による混雑や車両等による渋滞・騒音などがまだまだ地域に対して負荷をかけている現状もある。

この現状は当実行委員会としても誠に不本意ではあるが、財源確保や安全担保の観点等に鑑みると、8月の本開催において忽ちかつてのような会場レイアウトに戻すことは難しい。

これらの状況を受け、当実行委員会では例年のびわ湖大花火大会の開催において、特に交通規制でご不便をお掛けした周辺住民を対象とした、気軽に湖畔に出て楽しめる花火大会として「びわ湖秋花火(仮称)」を昨年に引き続き以下のとおり実施する。

3. 主催

びわ湖大花火大会実行委員会

4. 大会名称について

当花火大会について規模の大きな花火大会であるとの誤認が瀰漫し、想定以上の来場者が参集することを抑制するため、大会名称には「びわ湖大花火大会」を用いず、あくまで小規模花火大会であることを想起させる「びわ湖秋花火」とする。

5. 開催内容

- (1)日 時:令和7年(2025 年)11 月 3 日(月・祝) 18:30~18:45 を予定
※小雨決行(荒天時は中止)
- (2)打上場所:県営大津港沖水面一帯
※滋賀県警察本部水上警察隊大津分駐所東側防波堤沖 500m程度沖合に台船2基を設置し打ち上げ。
- (3)打上時間:15 分
- (4)発 数:500発(2号以上※要申請号数)
- (5)最大号数:10号玉 ※保安距離 280m
- (6)打上方法:台船2基
- (7)打上内容:最初は、昔ながらの花火大会のようにゆっくりと真上に玉を打ち上げる。後半に向けて徐々に演出を加えていき、フィナーレはびわ湖大花火大会を思わせるスターマインを実施する。
- (8)観覧場所:大津湖岸なぎさ公園(県営大津港~お祭り広場付近)
- (9)告知方法:交通規制の対象となった大津市中央学区、逢坂学区、平野学区、長等学区の住民に対してのみ告知を行う。【告知範囲・方法要検討】
- (10)警備体制:実行委員会スタッフのほか、職業警備員を10~20名程度配置し周辺の安全警備を行う。
水上については煙火打ち上げ事業者による警戒船を打ち上げ台船周辺に配置し、警戒区域内への動力船等の進入を抑制する。
- (11)交通規制:原則実施を想定しないが、必要があれば警備員・資機材等を調達し自主規制を行う。

6. 詳細案及び考え方等

(1)実施時期及び打ち上げ時間の考え方

遠方等からの過度の参集を防ぐため、休前日(金曜・土曜)は避けての実施とし、また地域住民の来場し易さに配慮し、11 月の日曜日に開催する。

打上時間は来場時の安全確保や、夜間の温度低下による低体温症発生等のリスクを避けるため、日没後間もない 18 時 30 分からの 15 分間とする。

(2)来場者抑制と満足度の担保を両立する花火打ち上げ内容

- ①最大500発の小規模花火大会とし、過度の来場意欲の惹起を抑制する。
- ②公称は 500 発として小規模花火大会とするが、申請が不要な 1 号や 1.5 号の花火を合せ、2,000 発程度とすることで、来場者地域住民の満足度を担保する。
- ③打ち上げ中の追加参集を防ぐため、比較的短時間の打ち上げ時間とする。
- ④打ち上げ中の追加参集防止の観点から、過度の期待を抱かせないように、最初は小規模の花火の単調な打ち上げとする。
- ⑤打上開始後の追加参集を抑制しつつ、また来場者の満足度を高めるため、打ち上げ冒頭は④のとおりにし、後半においてスターマイン及び斜め打ち等で盛り上げを演出する。
- ⑥満足度を担保するため、びわ湖大花火大会を想起させる斜め打ち等を実施するため、打ち上げ場所

として台船を1基手配するほか、煙火事業者の警戒船等よりの打ち上げも検討する。

(3)告知方法及び時期・範囲

ウェブサイトや一般広告等による不特定多数への告知は行わず、回覧等による当該区住民のみへの限定的な告知を行う。また不特定多数の来場抑制のため、限定的告知の時期を極力開催直近とする。

【地域向け限定的告知内容】

- ・花火の趣旨・規模等の基本情報
- ・花火打ち上げ日時
- ・花火観覧場所の周知
- ・車両での来場禁止
- ・違法駐車抑制
- ・ゴミの持ち帰り等マナー啓発
- ・路上観覧の禁止

【告知方法】

要検討

【告知範囲】

- ・大津市中央学区、平野学区、逢坂学区、長等学区

参考：当該学区人口(大津市公表データ)

令和7年7月	人口	世帯数	男性	女性
学区名称				
長等学区	12,440	6,377	5,817	6,623
逢坂学区	8,183	4,055	3,805	4,378
中央学区	7,282	3,679	3,392	3,890
平野学区	19,337	8,603	9,036	10,301
合計	47,242	22,714	22,050	25,192

【資料提供】

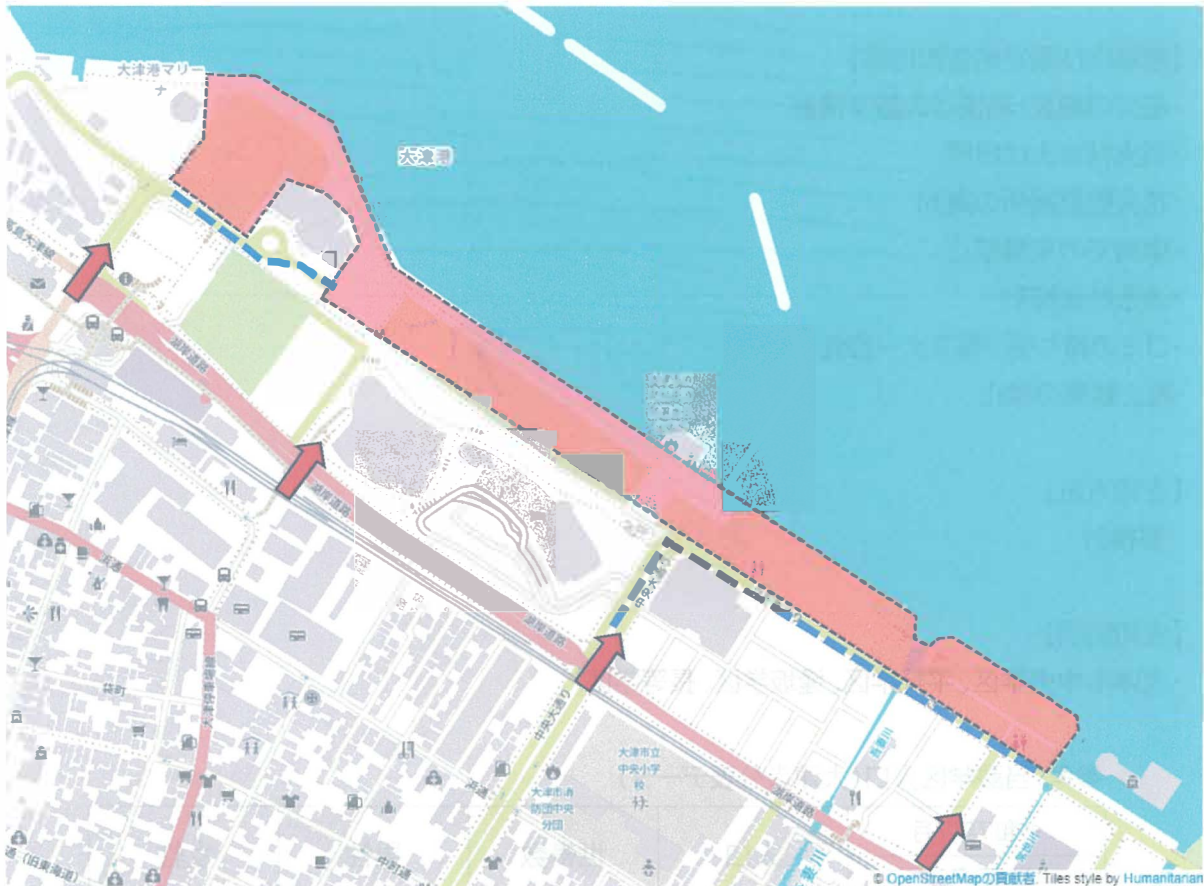
当該学区への告知チラシ折り込み日と同日に、滋賀県政記者クラブ、大津市政記者クラブへ開催の概要を資料提供する。ただし、解禁を11月3日(月・祝)19時以降とし、過度の参集防止のため、事前の報道が無いよう調整する。

(4)観覧場所の運用

- ①有料観覧席やイス等の設置は行わず、地域住民への告知において観覧場所として、大津湖岸なぎさ公園(大津港～お祭り広場付近 ※下図点線内)へ誘導する。

- ②事前の場所取り等は一切認めない。日中からスタッフ等が巡回し、場所取り行為があった場合は排除する。
- ③ゴミ箱等の設置は行わない。ゴミは持ち帰りを徹底する。

観覧場所想定図



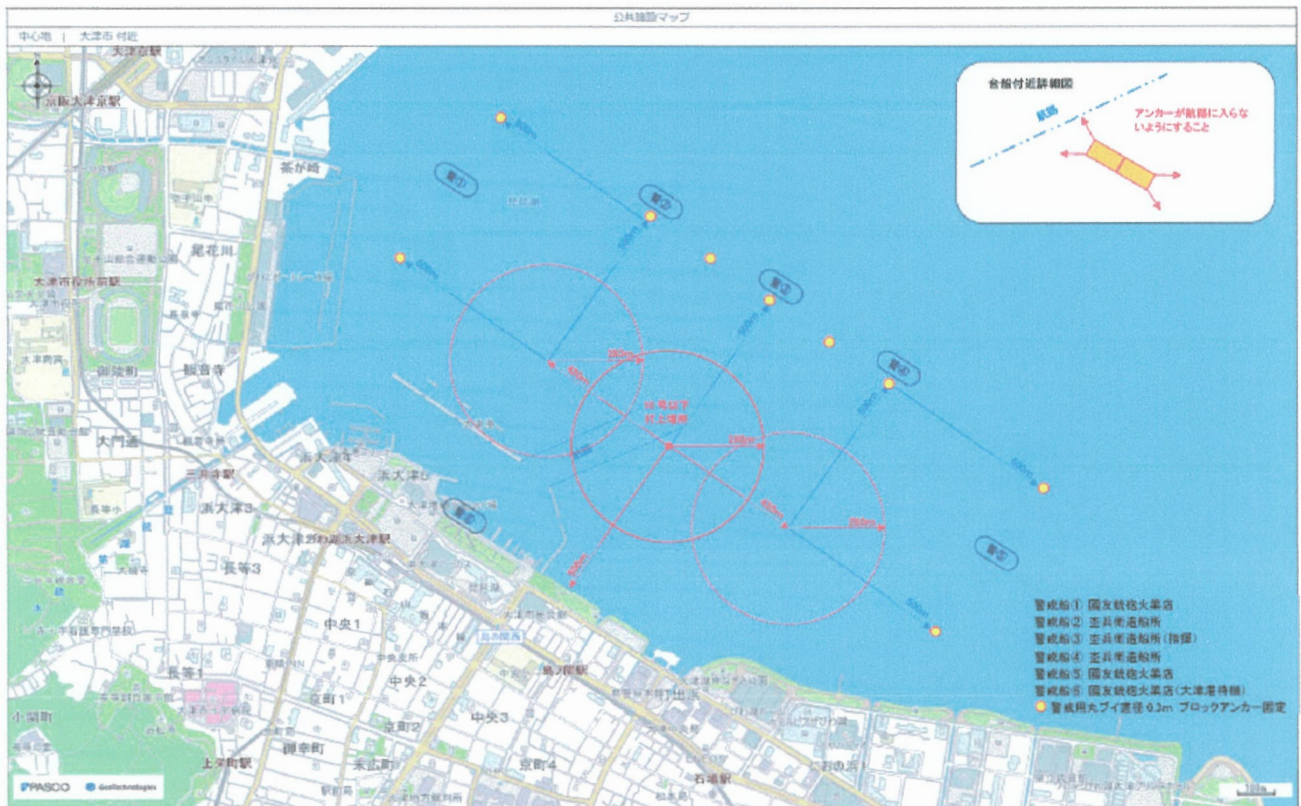
参集者想定：周辺3学区の住民 47,242 人のうち、10 人に1人が来場すると想定し、4,724 名程度が来場することを想定する。

(5)警備体制

- ①会場周辺に職業警備員等を配置し、雑踏密度が過度に高まらないよう誘導を行う。
- ②参集が多く、危険が想定される場合は直ちに打ち上げを中止し、その旨告知する。
- ③県道18号線や、なぎさ通り(市道幹1072号線)、大津駅前大通り(市道幹1037号線)の横断補助の要員を配置する。上図→部分想定
- ④なぎさ通り(市道幹1072号線)及び大津港口ロータリー付近での違法駐車等を抑制するため、カラーコーンの設置や職業警備員による対応を行う。特に大津港口ロータリーについては、送迎車両や違法駐車車両により混雑する可能性も考慮されるため、県営地下駐車場の入場口への誘導等を強化する。※青点線部
- ⑤露店等は公式では出店せず、非公式も実行委員会で占用物件等においては認めない。

- ⑥観覧場所湖岸部には落水防止のためのカラーコーン等を設置する。
- ⑦関係者の現地詰め所を大津市民会館内に置く。
- ⑧台船2基の周辺に、警戒船6隻を配置し保安エリアへの進入を防ぐ
- ⑨観覧場所の光量が低い部分にはバルーン照明を設置し、来場者の安全を担保する。※打ち上げ時は消灯。
- ⑩実施本部を大津市民会館リハーサル室に置く。(予定)

打上場所図



(6)必要になる申請・届出関係等

- | | | |
|--------------|-----------|---------------------|
| ①火薬類消費許可申請 | ➡大津市消防局 | ※花火の打ち上げにかかる申請 |
| ②河川占用許可申請 | ➡大津土木事務所 | ※打ち上げ台船の設置等にかかる申請 |
| ③公共港湾目的外使用申請 | ➡滋賀県流域政策局 | ※落水防止コーンの設置にかかる申請 |
| ④都市公園行為許可申請 | ➡大津市公園緑地課 | ※落水防止コーンの設置にかかる申請 |
| ⑤道路占用許可申請 | ➡大津市路政課 | ※違法駐車対策コーンの設置にかかる申請 |
| ⑥道路使用許可申請 | ➡大津警察署 | ※違法駐車対策コーンの設置にかかる申請 |
| ⑦催物届 | ➡滋賀県公安委員会 | ※催物の実施にかかる届出 |

7. 費用積算

積算額: 7,000,000 円(消費税及び地方消費税含む)

※詳細別紙のとおり